ニカラグア内政・外交・経済（２０１４年１１月分）

【概要】

<内政・外交>

　内政では、国会において、国会組織法改正案、外国軍隊の入国を認める法案、新民事訴訟法案等が可決された。また、オルテガ大統領は、クラウディオ・セリ・カトリック教会猊下や司教会議メンバーと６ヵ月振りに会合するなど、オルテガ大統領とカトリック教会との接近がうかがえた。一方、先月決裂した野党連合交渉は、その後何ら進展はなく、膠着している。

外交では、国境問題に関する動きが見られた。コスタリカは、ニカラグアのサンフアン河浚渫に対し抗議した他、サントス・コロンビア大統領は、サンアンドレス諸島住民を保護するため、ニカラグアとの合意を目指す旨発言した。また、在ニカラグア欧州連合代表は、７年間継続してきたニカラグアへの経済協力を２０１５年１月以降も７年延長する旨発表した。その他、スパイ容疑で米国に拘束されていたキューバ人フェルナンド・ゴンサレスがニカラグアを訪問し、オルテガ大統領と会談した。

<経済>

　運河建設への反対運動を含め、両大洋間運河建設計画に関する動きが活発であった。同運河への批判や反対運動は徐々に勢力を強め、複数の組織が情報公開及び国民との対話を訴えた。他方、ＨＫＮＤ社は同運河計画の進捗報告会を開催し、１２月２２日に運河建設の起工式を実施する旨表明した。その他、国会は本年頻発した地震や豪雨災害等への対応のため、２０１４年度第２次補正予算案を可決するとともに、明年の国家予算案を承認した。

１　主要な動き

（１）政治

ア　コロンビアとの領海紛争

　サントス・コロンビア大統領は、ニカラグアとの合意を目指す旨発言した。同発言は、ＩＣＪによるカリブ海境界画定に係る判決が出されたちょうど二年後に行われ、コロンビア側の対応の遅さが窺える。また、オルテガ大統領は、本件について、サントス・コロンビア大統領と対話を開始する姿勢を示しているが、２年前のＩＣＪの判決に基づいて行動するとの立場を表明している。

イ　秘密投票制度の導入

　秘密投票は、これまでも、多数決により実施の必要性が認められれば、実施される仕組みであったが、今般の国会組織法改正により、国会の審議における秘密投票制度が明確化された。この背景としては、技術的な理由で現行の方式での投票が困難になった場合でも、投票を可能とするためと説明されている。

（２）経済

ア 両大洋間運河建設計画進捗報告会の開催

　２０日、当国政府はニカラグア両大洋間運河建設計画の進捗に関する報告会を開催し、１２月２２日より工事を開始する旨発表した。同報告会では工法の技術的説明の他、環境への配慮や雇用の見通し等の説明はなされたものの、具体的な経済的インパクトや工事開始時の投資額等は明らかにされなかった。なお、運河特別委員会広報官によれば、運河建設への出資者は運河建設開始前に発表され、環境インパクト調査及びＦ／Ｓは来年４月には終了の見込みである。

イ　２０１５年度予算

　２６日、国会はサンディニスタ会派の賛成６４票で２０１５年度国家予算案を可決した。可決された国家予算は歳出総額約６１，０３４．９百万コルドバ（約２３４７．５百万米ドル）となり，２０１４年度比６，２９６百万コルドバ（約２４２百万米ドル）増加した。歳入は約５５，３０９．４百万コルドバ（約２１２７．３百万米ドル）で、財政収支は約▲５，７２５．５百万コルドバ（約　２２０．２百万米ドル）となる。野党議員は、今次予算案が十分に審議されなかった点、保健省にＧＤＰの３．１％、教育省には３％のみの配分であり、ミレニアム開発目標に向けた社会開発関連支出への優先性に欠ける点等を指摘した。

＜主要経済指標＞

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 　 | **2014年** | **2013年** | **2012年** |
| **1１月** | **１０月** | **９月** |
| **インフレ率 （前年同月比）** | 7.6% | 6.6% | 6.5% | 6.3% | 6.2% |
| **貿易収支（百万ドル）** | **未発表** | **未発表** | △205.9 | △2792.3 | △2,740.7 |
| **輸出（百万ドル）** | **未発表** | **未発表** | 207.4  | 2,400.7 | 2,677.4 |
| **輸入（百万ドル）** | **未発表** | **未発表** | 413.4 | 5,193.0 | 5,418.1 |
| **海外送金 （百万ドル）** | **未発表** | 93.5 | 94.7 | 1,077.7 | 1,014.2 |
| **外貨準備高（百万ドル）** | 2,126.2 | 2,169.6 | 2,131.6 | 1,993.0 | 1,887.2 |

（出典：ニカラグア中央銀行）

２　クロノロジー

（１）内政

１１日　国会において、国会組織法改正案可決。

２４日　オルテガ大統領は、エンリケ・ベテタ氏を保健省副大臣に任命。

２５日　国会は、外国軍隊の入国を認める法案を可決。

２６日　国会は、新民事訴訟法案を可決。

（２）外交

１８日　コスタリカは、ニカラグアに対しサンフアン河の浚渫に関する批難文書を送付。

１９日　ニカラグアは、コロンビアとの境界画定問題について同国との対話を開始。

　　　　オルテガ大統領は、アイスランド議員団と会合（於：マナグア）。

２２日　オルテガ大統領は、スパイ容疑で米国に拘束されていたキューバ人をニカラグアに招待。

２９日　在ニカラグア欧州連合代表は、ニカラグアへの経済協力を２０１５年１月以降７年延長する旨発表。

（３）経済

１１日　国会において２０１４年度第２次補正予算案が可決。

１９日　エリン・アルナドティル・アイルランド産業・技術革新大臣はラパチョリ・エネルギー鉱山大臣との間で地熱発電開発に係る合意文書に署名。

２０日　ＨＫＮＤ社は両大洋間運河建設計画進捗説明会を実施し、ＨＫＮＤ関係者、ニカラグア運河開発委員会関係者、外交団等が出席。

 アコスタ財務大臣はコンラド中米経済統合銀行ニカラグア代表との間で水・衛生プログラムに対する３千万ドルの融資合意文書に署名。

２６日　国会はクウェート基金からの３００百万ドルの融資を可決。

２７日　国会は２０１５年度国家予算案を可決。（了）